

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 8年 2月 10日

公表:令和 8年 3月 21日

事業所名 じにいろPROGRESS II

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	活動ごとに場所を分けてパーティションで区切り、活動スペースの確保をする視覚的に分けることで子ども達への配慮をする	活動により、場所を分けることで子ども達への切り替えやすさや配慮を行う
	2	職員の配置数は適切である	7	0	活動プログラムによっては、支援員と職員のバランスが取れないことがある	専門活動により、個別での支援が必要になるため、送迎に出る職員の人数や時間帯を意識して活動を行う
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	7	事業所が二階にあり、行くまでに階段があり、エレベーターはない	階段では後ろから落ちないように支えたり手をつないだりして怪我が無いように補助をする
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	朝礼や職員研修を行い、こまめな情報共有や職員間での相違がないよう支援の統一に努めている	当日、共有ができなかった職員に対しては、翌日の出勤時に伝達ができるよう、支援日誌に記録を残している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	毎年アンケートを実施し、改善に努めている	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	毎年ホームページに掲載している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7	第三者評価は行っていない	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	毎月年間計画として職員研修が予定されている	研修に積極的に参加し、支援の質を上げていく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	保護者さまとの面談時に本人・ご家族の困りごとを確認し、支援計画に反映させている、また、S-M社会生活能力チェック等のツールを用いてサービスを提供している	頂いた検査結果などを共有し、その子の特性に合わせた支援を行う
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	S-M社会生活能力チェック等のツールを用いてサービスを提供している	頂いた検査結果などを共有し、その子の特性に合わせた支援を行う
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	プログラムを決める際には、職員同士で確認をしてから行い、内容を相談している	プログラムの向上を目指し、職員同士での意見交流を深め、支援の統一を目指す
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	活動プログラムを月単位で作成しており、選択ができるよう、内容を相談してからカリキュラムを組んでいる	プログラムが固定化されないよう、新しい活動を入れ込んだり、5領域に沿った支援内容を確認をしたりすることを意識している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	0	長期休暇は日ごとのプログラムを作成し、活動時間に合わせ、見通しを持ったプログラムを決めている	長期休暇はイベント以外にもお出かけや制作活動を集団で行うよう計画を立てている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	来所する子どもの組み合わせに応じて、状況に合わせたカリキュラムを組んでいる	お出かけや制作など、曜日ごとで偏りが無いよう工夫しながら予定を作成している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	朝礼を行い、その日の来所児童や支援内容の確認、情報共有を行っている	朝礼に参加できない職員にも伝達ができるよう、支援記録日誌に掲載したり、出勤時に再度共有ができるようにしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	重要度・緊急度の高いものは必ず当日中に共有をし、共有ができなかった分については、翌日に朝礼で職員に伝達できるようにしている	最終的に職員全員に周知できるよう、緊急度などを確認し必要に応じて伝達を行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	支援記録日誌に支援内容や特記事項がある際は記入をする	特記事項を記載することで、その日出勤しなかった職員にも状況が伝達できる環境を作る
18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	0	個別支援計画の更新に合わせ、保護者さまとの面談、職員間のモニタリングを行っている	職員のモニタリングを行うことで支援計画見直しの為の本人の達成度の確認をする	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	0	面談を行い利用者に必要な基本活動を組み合わせ合わせて支援をしている	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	児童発達支援管理責任者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	1	学校の情報は保護者さまからのやり取りをお願いしているが、調整が必要な場合には学校と連絡を取り連携を図っている	保護者さまから相談を受けた際には、学校への連携依頼をし、担当者会議などを開いてもらいお子さまへの統一した支援を図る
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	2	医療ケアが必要な利用者の受け入れは経験がない	提携している病院はあるため、医療ケアが必要な利用者の受け入れの際にはフローを確認しておく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	2	法人が運営する児童発達支援サービスからの引継ぎなど、連携を行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	1	放デイから障害福祉サービスへ移行の経験がないが、必要な場合は書類を作成し情報共有を行う	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	外部講師からの研修を受けている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	7	0	長期休暇には児童館を利用したり、イベント活動では地域交流する活動を取り入れたりして交流の機会を設けている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	3	協議会の参加は出来ていない	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	面談時や送迎時、また、保護者さまからご相談を受けた際には職員同士で確認し、共有を行っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	保護者さまからのご相談やご要望をいただいた際に都度行っている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	契約時に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	ご相談を頂いた際は、面談を行ったり、家庭連携することでお子さまの支援の共有をし、必要があれば関係機関へお繋ぎするなども援助も行っている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	0	毎年2回保護者会を開催している	親子での参加型イベントや、懇親会など保護者さま同士が関わる機会を設けている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	報告、相談を速やかに行い、上長まで報告ができるよう、フローを確認している	対応のフローを所内で共有し、迅速な対応ができるようにしている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	公式ライン・ステップにて日ごろの支援、行事について発信している	
	35	個人情報に十分注意している	7	0	個人情報は施錠できるロッカーにて保管、外に発信するものに関しては写真などの加工を行い細心の注意を払っている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	視覚優位、聴覚優位など特性を理解して伝えやすい方法での伝達を行う	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7	0	イベント時に地域の方が参加できる「フードパントリー」を開催している	多くの方を知ってもらえるようイベントの周知を心がける
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	0	HUGにてお知らせしている	

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	半年に一度、防災訓練を行っているイベントや長期休暇などを利用し、防災を身近に感じてもらえるよう、イベントに取り込んでいる	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待防止委員会の設置、研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7	0	身体拘束が必要な児童に対しては職員間で話し合い、保護者に説明している	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	0	保護者さまからのアセスメント、契約時にアレルギーについての確認と、対応方法について確認している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	問題があった際には即座にヒヤリハットを作成して、共有している	起きたときの状況を整理し再発防止のため話し合っている